

第39回
大阪国際女子マラソン
2020 Osaka Women's Marathon



奥村組
OKUMURA CORPORATION



PLAYBACK 2020

東京2020オリンピック競技大会の出場権をかけたMGCファイナルチャレンジの一つである今大会。気温10.2度、曇りで微風の好条件の中、国内外招待選手19人を含めた469人が栄光を目指してスタートを切った。

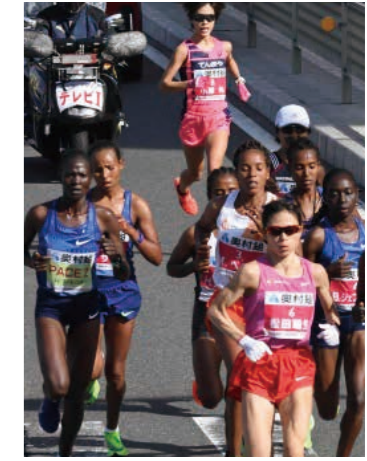
第39回大会 2020.1.26 出場者:469人/国内458人、外国11人(7ヵ国)
完走者:423人 気温:10.2℃(スタート時) 湿度:62%(スタート時)



順位	名前	年齢	国名(所属)	タイム
1	松田 瑞生	24	ダイハツ	2:21:47
2	ミミ・ベレテ	31	パーレーン	2:22:40
3	シンタエフ・レウェテン	23	エチオピア	2:23:03
4	メスケレム・アセファ	28	エチオピア	2:23:31
5	リサ・ウェイトマン	41	オーストラリア	2:26:02
6	ボルネス・ジェブキルイ	33	ケニア	2:26:24
7	山口 遥	32	AC・KITA	2:26:35
8	ファツマ・サド	28	エチオピア	2:27:18
9	ハフタムネッシュ・テスファイ	25	エチオピア	2:27:50
10	田中 華絵	29	資生堂	2:27:51



9キロ付近
ペースメーカーの新谷(東京陸協)から指示を受けながら走る松田(ダイハツ)ら先頭グループ。



17キロ付近
17キロ過ぎから昨年2位の小原(天満屋)が遅れだす。

最後は。私。 Break the 2:22:22

20キロ付近
20キロ手前で過去2回の優勝をほこる福士(ワコール)も遅れ始めると25キロ過ぎに棄権。

31キロ付近
31キロ過ぎに松田がベレテ(パーレーン)を引き離し、一気に独走となった。

37キロ付近
37キロ付近、沿道の声援を受け笑顔を見せる松田。



2年ぶりの浪速路を2時間21分47秒の日本歴代6位的好タイムで優勝した松田。



市民ランナーの山口(AC・KITA)が自己ベストを1分以上縮める快走で日本人2番手に入った。